

## Cisco DX70



### 製品概要

Cisco® DX70 は、あらゆるデスクに卓越したコラボレーションをもたらします。この洗練された 14 インチ タッチスクリーン デバイスには最高クラスの高解像度 (HD) ビデオや音声機能が備わっており、生産性を容易に向上できます。高品質のコラボレーション体験をお手頃価格で導入すれば、すぐにオフィスや自宅オフィスのすべてのデスクトップを強化することができます。DX70 には、次の特長があります。

- 常時接続された専用の 1080p 高画質ビデオ通信システム
- IP Phone を Cisco Unified Communications Manager (UCM) コール制御に登録
- 高品質オーディオ システムによるスピーカーフォンおよびメディアの再生
- 14 インチの 16:9 スクリーンが、ビデオ通話に魅力的なエクスペリエンスを提供
- 静電容量方式マルチタッチスクリーンの美しくパワフルなユーザ インターフェイス
- デバイスの簡単なセルフプロビジョニングで、開封後は即座に使用可能
- 主要なコラボレーション機能に制限したり、セキュリティを強化した Android オペレーティング システムにより機能を追加したり、管理者が柔軟に設定可能

### 機能と利点

表 1 に、Cisco DX70 の機能と利点を示しています。

表 1. 機能と利点

機能	利点
デザインの特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 数分でインストールが完了: DX70 はタッチ画面ですべての操作を制御可能な統合型デバイスです。電源ケーブルとイーサネット (または Wi-Fi を使用) を接続するだけで使用できます。セルフプロビジョニング型なのでデバイスは自動的に登録されます。認証するだけでセットアップは完了します。</li> <li>• 高画質ビデオ: DX70 は、1920 X 1080 の 14 インチ スクリーン、8MP カメラ、およびクラス最高のビデオ圧縮により、魅力的なエクスペリエンスを提供します。</li> <li>• 高性能のオーディオ音響システムは、マルチメディアの再生に最適です。</li> <li>• タッチスクリーン インターフェイス: 静電容量方式マルチタッチスクリーンのオーバーレイが、美しく効率的なインターフェイスを提供します。</li> <li>• 画面上ですべてを制御: 画面をタッチして簡単にコール発信できます。外部デバイスは不要です。会議中に参加者との会話を保持したまま、オプション機能を利用することも可能です。</li> <li>• ドキュメント カメラ: DX70 上部のカメラを下に傾けると、物理コンテンツや図などを共有できます。</li> <li>• 角度調節可能なスクリーン: デスクに座って楽な姿勢でデバイスの入力や操作を行いたいユーザにも対応します。デスクトップで画面の角度を 20 ~ 85 度の範囲でスクリーンを簡単に調節できます。</li> </ul>

機能	利点
コンテンツ共有機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンをタッチするだけでマルチメディアやプレゼンテーションを共有: 通話中にラップトップまたはデスクトップ PC/Mac の画面を表示したり、通話中の他の参加者と即座に画面を共有したりできます。</li> <li>コンピュータと DX インターフェイスを簡単に切り替え:[Source] ボタンを押すだけで、モニタ モードと DX70 インターフェイスが切り替わります。</li> </ul>
アプリケーションの特長	<p>管理者は DX シリーズの機能セットの拡張を通じて次のアプリケーション機能をご活用いただけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モバイル音声用 CC Intelligent Proximity: DX70 音声ハードウェアおよびコール制御を使用して、モバイル デバイスに発信したり、モバイル デバイスから発信を行ったりできます。さらに、連絡先や通話履歴をモバイル デバイスから DX70 に同期できます。</li> <li>WebEx® と Jabber® の統合: DX70 では、インスタント メッセージ、プレゼンス、および Web 会議を可能にするシスココラボレーションアプリケーションがプリインストールされています。</li> <li>Google Android アプリケーションとの互換性: DX70 では規格に適合したすべての Android アプリケーションを実行できます。シスコではサードパーティ製アプリケーションはサポートしていません。アプリケーションに関するサポートが必要な場合、アプリケーションベンダーまたは開発者にお問い合わせください。</li> </ul>
性能の特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>HD ビデオとコンテンツの同時共有</li> <li>現在のすべての PC および Mac コンピュータに適合する RGB 入力</li> <li>フルデュプレックス、ワイドバンド音声の音声通信</li> <li>Cisco UCM による容易なプロビジョニングと自動設定</li> </ul>

## 製品仕様

表 2 に、Cisco DX70 の仕様を示します。

表 2. 製品仕様

機能	利点
コンポーネント	<p>すべてユニットに組み込み:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コーデック</li> <li>カメラ</li> <li>ディスプレイ</li> <li>マイクおよびスピーカー</li> </ul> <p>付属品: 画面用クリーニングクロス、イーサネット ケーブル(2.9 m)、電源ユニット</p>
ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>14 インチ LCD モニタ</li> <li>解像度: 1920 X 1080 (16:9)</li> <li>AHVA ディスプレイテクノロジー</li> <li>コントラスト比: 700:1 (通常)</li> <li>ビューイング コーン: 89/89/89/89</li> <li>応答時間 25 ミリ秒</li> <li>輝度: 300 cd/m2 (平均 5 ポイント)</li> <li>静電容量方式検知型 10 ポイント マルチタッチ画面</li> </ul>
対応 PC 入力解像度	最大 1080p
人間工学に基づいた設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>フット スタンドを完全収納でき、持ち運びが簡単</li> <li>ユニットを垂直位置より 5 ~ 70 度の角度に簡単に傾斜可能</li> <li>カメラを画面から -5 ~ 70 度の角度に簡単に傾斜可能</li> <li>メイン I/O パネルは、接続部を隠すフリップ カバー付き</li> </ul>
音声	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオ システムの再生: 周波数範囲: 100 Hz ~ 15 kHz、+/-3 dB*</li> <li>オーディオ システムの再生: 最大 90 dB (1 w/1 m 時)*</li> <li>最適な位置に調整/取り付けられたアナログ全方向性マイク</li> </ul> <p>*仕様は音響サブシステムの直接測定に基づきます。</p>
カメラ(前面)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水平視野角 63 °</li> <li>垂直視野角 38 °</li> <li>解像度: 1080p 30</li> <li>F 2.2</li> <li>顔認識を使用したインスタント フォーカス</li> <li>ブライバシー シャッター</li> </ul>
オペレーティングシステム	Android OS 4.1.1

機能	利点
プロセッサ	TI OMAP 4470 1.5 GHz デュアル コア ARM Cortex-A9 プロセッサ
ストレージ	8 GB eMMC NAND フラッシュ メモリ(マルチメディア カード内蔵、不揮発性)
メモリ	2 GB RAM: 低電力 Double Data Rate 同期 DRAM(LPDDR2 SDRAM)
ポートおよびスロット	<ul style="list-style-type: none"> <li>PC または Mac ビデオ入力用の HDMI(High-Definition Multimedia Interface)タイプ A ポート</li> <li>HDMI タイプ A ポート出力(ミラー モード出力をサポート、HDMI 入力との同時使用は不可)</li> <li>高速な USB 2.0 ポート: <ul style="list-style-type: none"> <li>標準の A タイプ ポート X 3(キーボード、マウス、ヘッドセット、外部カメラ、サム ドライブ、メモリ スティック接続用)</li> <li>側面 USB ポートは高電流(2 A)で充電可能、背面の 2 ポートはそれぞれ 500 mA で充電可能</li> <li>Micro-B USB ポート X 1(診断/修理用シリアル ポート)</li> </ul> </li> <li>MicroSD 標準容量(HDSC)スロット: アプリケーションまたはファイル拡張の不揮発性ストレージ用、最大 32 GB(標準解像度(SD)カード スピード Class 4 以上を推奨)</li> <li>3.5 mm アナログ ヘッドフォン/ヘッドセット ジャック X 1</li> </ul>
物理的なボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>静電容量感知式の [Source] ボタンを使用して、HDMI 入力と DX70 インターフェイスを切り替え可能、HDMI 入力の接続時にはボタンが点灯</li> <li>静電容量センサの音量調整</li> <li>静電容量センサの音声ミュート</li> <li>電源/リセット/スリープ ボタン</li> </ul>
ビジュアル インジケータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラ LED インジケータ(着信コールおよびカメラ起動)</li> <li>マイク LED インジケータ(ミュート)</li> <li>電源ボタン LED インジケータ(電源オン、スリープ、メッセージ待機、エラー)</li> <li>[Source] ボタン(HDMI 入力ソースが存在する時に点灯)</li> </ul>
物理寸法(高さ X 幅 X 奥行)	377.1 X 353.1 X 62.3 mm(14.84 X 13.91 X 2.45 インチ)
重量	3.4 kg(7.5 ポンド)
電源	定格: 3.5 A(最大 12 V) 省電力スタンバイ モード 統合型 EnergyWise® サポート
物理的セキュリティ	Kensington セキュリティ ロック スロット
<b>接続</b>	
イーサネット	<ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵 2 ポート シスコ イーサネット スイッチにより、電話機と、それとともに配置した PC/Mac は両方とも、RJ-45 インターフェイスを介した単一の LAN 接続で 10/100/1000BASE-T イーサネット ネットワーク(IEEE802.3i/802.3u/802.3ab)に直接接続できます。</li> <li>音声およびデータトラフィックのセキュリティと信頼性を向上させるために、システム管理者は PC と電話機に別々の VLAN(IEEE 802.1Q)を指定することができます。</li> </ul>
デスクトップ Wi-Fi イーサネット	<ul style="list-style-type: none"> <li>有線イーサネットの代わりに、802.11a/b/g/n Wi-Fi でネットワークに接続できます。</li> </ul>
ネットワーク機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>Cisco Discovery Protocol</li> <li>Cisco Peer-to-Peer Distribution Protocol(PPDP)</li> <li>Session Initiation Protocol(SIP)シグナリング</li> <li>Session Description Protocol(SDP)</li> <li>User Datagram Protocol(UDP)(Real-Time Transport Protocol(RTP)ストリームの場合のみ使用)</li> <li>Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP)クライアントまたは静的設定</li> <li>透過的なセキュア ローミング</li> <li>Gratuitous Address Resolution Protocol(GARP)</li> <li>オート ネゴシエーションの切り替え</li> <li>ドメイン ネーム システム(DNS)</li> <li>Web プロキシ(Protected Access Credential(PAC)ファイルの手動設定または自動設定)</li> <li>NT LAN Manager(NTLM)および Kerberos の認証</li> <li>Trivial File Transfer Protocol(TFTP)</li> <li>Secure Hypertext Transfer Protocol(HTTPS)</li> <li>Wi-Fi 管理</li> <li>IPv4 設定</li> <li>IPv6 設定</li> <li>VLAN</li> <li>Real-Time Control Protocol(RTCP)(より優れたビデオ体験を提供するために、RTP 上にジッター、遅延、ラウンドトリップ遅延などの QoS データを提供)</li> </ul>

機能	利点
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Secure Real-Time Transport Protocol (SRTP)</li> <li>ソフトウェア ポート速度 (手動または自動設定、無効化も含む)</li> <li>PC ポート速度 (手動または自動設定、無効化も含む)</li> </ul>
<b>Bluetooth</b>	Bluetooth 3.0 Enhanced Data Rate (EDR) Class 2 テクノロジー (最大範囲: 10 m (30 フィート)) <ul style="list-style-type: none"> <li>Human Interface Device (HID) のキーボードおよびマウスのサポートにより、入力アクセサリの追加が可能</li> <li>Hands-Free Profile (HFP) により、ヘッドセット接続および音声通信の配線が不要</li> <li>Phone Book Access Profile (PBAP) により、デバイス間での電話帳オブジェクトの交換が可能</li> <li>Advanced Audio Distribution Profile (A2DP) によるストリーミング オーディオ</li> <li>Object Push Profile (OPP) による一般のファイル交換</li> </ul>
<b>アクセサリ</b>	
<b>Cisco VESA 用取り付けキット</b>	オプションの取り付けキットには、DX70 フット スタンドの代わりに取り付け位置を 2 種類の VESA 標準規格 (75 X 75 mm または 100 X 100 mm) に変換できるアダプタが含まれます。そのアダプタを使用して、サードパーティ製取り付けソリューションや本キット付属の基本的な水平壁面取り付けをご利用いただけます。
<b>ファームウェア</b>	
<b>バージョン</b>	10.2.5 ファームウェア
<b>コール プラットフォーム サポート: プロビジョニングと管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最低サポート要件: Cisco UCM バージョン 8.5.(1)、8.6.(1)、および 8.6(2)</li> <li>推奨: Cisco UCM バージョン 9.1.2、10.5.(1) 以上</li> <li>Cisco Expressway でサポートされている最小バージョン Cisco UCM: 9.1(2) SU1</li> <li>Cisco Expressway の最小バージョン: X8.5.0</li> <li>Cisco Hosted Collaboration Solution (HCS)</li> <li>Cisco Business Edition 6000 バージョン 9.1 以降</li> </ul>
<b>アップグレード プロセス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Cisco UCM によるデバイスのソフトウェア アップグレード</li> <li>TFTP を使用したオンライン ファームウェア アップグレードをサポート</li> <li>HTTP ファームウェア管理</li> </ul>
<b>温度範囲</b>	
<b>動作温度</b>	0 ~ 40 °C (32 ~ 104 °F)
<b>相対湿度</b>	10 ~ 90 % (結露しないこと)
<b>保管温度</b>	-20 ~ 60 °C (-4 ~ 140 °F)
<b>認定および適合規格</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>指令 2006/95/EC (低電圧指令): 標準 EN 60950-1</li> <li>指令 2004/108/EC (EMC 指令): 標準 EN 55022、クラス B: 標準 EN 55024: 標準 EN 61000-3-2/-3-3</li> <li>ETSI EN 301 489、ETSI EN 300 328、ETSI EN 301 893 準拠</li> <li>指令 2011/65/EU (RoHS)、指令 2009/125/EC (ErP)、指令 2002/96/EC (WEEE)</li> <li>UL 60950-1 および CNA/CSA-C22.2 No. 60950-1-07 認証取得</li> <li>FCC CFR 47 Part 15 クラス B 準拠</li> <li>CFR 47 Part 15.247、CFR 47 Part 15.407、CFR 47 Part 2.1093 の FCC 適用 KDB に準拠</li> </ul>

Cisco DX70 に関して、表 3 にビデオおよび音声の仕様、表 4 にソフトウェア機能、表 5 に Wi-Fi 機能および仕様を示します。

表 3. ビデオおよび音声の仕様

機能	仕様
ビデオ規格	H.264 AVC (H.264/MPEG-4 Part 10 Advanced Video Coding)
解像度の最小帯域幅とフレームレート (30 fps)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CIF 352 X 288 (4:3) 64 ~ 299 kbps</li> <li>• VGA 640 X 480 (4:3) 400 ~ 1500 kbps</li> <li>• 360p (640 X 360) 300 ~ 599 kbps</li> <li>• 480p (848 X 480) 600 ~ 799 kbps</li> <li>• 576p (1024 X 576) 800 ~ 1299 kbps</li> <li>• 600p (1024 X 600) 800 ~ 3000 kbps</li> <li>• 720p (1280 X 720) 900 ~ 1300 kbps</li> <li>• 1080p (1920 X 1080) 2000 ~ 4000 kbps</li> </ul>
フレームまたは画像形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CIF (352 X 288 ピクセル)</li> <li>• VGA (640 X 480 ピクセル)</li> <li>• 240p (432 X 240 ピクセル)</li> <li>• 360p (640 X 360 ピクセル)</li> <li>• 480p (848 X 480 ピクセル)</li> <li>• WSVGA (1024 X 600 ピクセル)</li> <li>• HD 720p (1280 X 720 ピクセル)</li> <li>• HD1080p (1920 X 1080 ピクセル)</li> </ul>
ビデオ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ビデオおよびプレゼンテーション用のオンスクリーン レイアウト コントロール</li> <li>• セルフビュー</li> </ul>
対応 HDMI 入力解像度	<p>サポート対象の形式: 最大 1920 X 1080 @ 60 fps (HD1080p60)、以下を含む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 640 X 480 @ 60 fps</li> <li>• 1280 X 720 @ 60 fps</li> <li>• 1920 X 1080 @ 30 fps</li> <li>• 1920 X 1080 @ 60 fps</li> </ul> <p>注: 高画質入力はプログレッシブ ビデオ形式を使用</p>
音声規格	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ナローバンド音声圧縮コーデック: G.711a、G.711u、G.729a、G.729ab、iLBC</li> <li>• ワイドバンド音声圧縮コーデック: G.722、Internet Speech Audio Codec (iSAC)、iLBC、AAC-LD 音声圧縮コーデック</li> </ul>
通話音声機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 最大 16 kHz サンプリング レート</li> <li>• 100 Hz ~ 15 kHz のラウドスピーカー周波数応答</li> <li>• オート スタティック ノイズ リダクション</li> <li>• アコースティック エコー キャンセラ</li> <li>• オート ゲイン コントロール (AGC)</li> <li>• アクティブ リップ シンク</li> </ul>
デュアル ストリーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Binary Floor Control Protocol (BFCP) (SIP) デュアル ストリーム</li> <li>• 最大 1080p (1920 X 1080) 解像度をサポート</li> </ul>

表 4. ソフトウェア機能

機能	仕様
Android の主な機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カスタマイズ可能な Cisco Launcher と [ホーム スクリーン (Home Screen)] アプリトレイにより、アプリケーション ショートカット、ウィジェット、フォルダを自由に配置</li> <li>• [ホーム スクリーン (Home Screen)] では最大 5 つの画面ビューまたはページをサポート (6 X 5 のアイコン グリッド)</li> <li>• 横長のアプリケーションをサポート</li> <li>• オンスクリーン キーボードをサポート</li> </ul>

機能	仕様
Android のバンドルアプリケーションとウィジェット	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュレータ</li> <li>カレンダー</li> <li>カメラ</li> <li>時計</li> <li>連絡先</li> <li>直通ダイヤル</li> <li>電子メール <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット メッセージ アクセス プロトコル (IMAP)</li> <li>ポスト オフィス プロトコル 3 (POP3)</li> <li>Microsoft Exchange ActiveSync</li> </ul> </li> <li>お気に入り</li> <li>ギャラリー</li> <li>電話機能 (全員へ転送、プライバシー、サイレント (DND)、モビリティ、セルフビューなど)</li> <li>壁紙 (Live Wallpaper を含む)</li> <li>Web ブラウザ</li> </ul>
Google のバンドルアプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>Google Play (管理者が Cisco UCM を通じて有効化。国別に承認された Google モバイル サービス アプリケーションを含む)</li> <li>Gmail</li> <li>Google 設定</li> <li>地図</li> <li>Play ブックス</li> <li>Play マガジン</li> <li>Play ムービー</li> <li>Play ミュージック</li> <li>Google Now</li> </ul>
シスコのバンドルアプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>Cisco AnyConnect<sup>®</sup> セキュア モビリティ クライアント (VPN)</li> <li>Cisco Jabber IM (チャットとプレゼンスの機能を提供)</li> <li>Cisco WebEx 会議</li> <li>Quick Contact Badge (発信、E メール メッセージやインスタント メッセージ (IM) の送信、WebEx 会議の開始など、連絡先とのコラボレーションを容易に実現)</li> <li>表示によるボイスメール</li> </ul>
モバイル音声用 Cisco Intelligent Proximity	<ul style="list-style-type: none"> <li>PBAP をサポートする Android または iOS のモバイル デバイスと Bluetooth でペアリングすることで連絡先情報を同期</li> <li>コール履歴の同期により、モバイル デバイスでの発信または不在着信の記録を DX70 で表示</li> <li>音声パス ルーティングにより、モバイル デバイスに接続されたコールの音声を DX70 を通じて送信</li> </ul>
設定モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡張されたフル機能モード: アプリケーションやアカウントを含むフォン機能のすべての要素を有効化</li> <li>簡易モード: アプリケーションとアカウントを無効化し、音声とビデオ通話のみを提供</li> <li>パブリック モード: 簡易モードをベースとし、ユーザ設定の修正を制限したモード</li> </ul>
アプリケーションの導入オプションと管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理者は Cisco DX650/70/80 でのアプリケーション ダウンロードをすべて無効にできます。具体的にはサードパーティ製 Android アプリケーションのインストールを禁止するように DX650/70/80 を設定できます。</li> <li>Google Play へのアクセスも管理者が無効 (デフォルト) にできます。「不明な供給元」のアプリケーションも管理者が無効 (デフォルト) にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>管理者は Cisco UCM を使用し、APK ファイルからアプリケーションをインストールできます。</li> <li>管理者は社内のフォト ディレクトリを使用して、各ユーザに関連する画像の保存場所のディレクトリ URL をセットアップし、リンクを作成できます</li> </ul> </li> </ul>
トレーニングとセットアップ アシスタントの組み込み機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>セットアップ アシスタント ウィザード (E メール、Jabber IM、WebEx 会議、およびボイス メール アカウント設定を支援)</li> </ul>
サードパーティアプリケーションの開発	<p>Cisco Collaboration アプリケーション プログラミング インターフェイス (API) をソフトウェア開発キット (SDK) で提供  <a href="https://developer.cisco.com/site/dxseries/overview/index.jsp">https://developer.cisco.com/site/dxseries/overview/index.jsp</a> [英語]</p>
言語サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>アラビア語、エジプト (ar_EG)</li> <li>ブルガリア語、ブルガリア (bg_BG)</li> <li>カタロニア語、スペイン (ca_ES)</li> <li>中国語、中国 (zh_CN)</li> <li>中国語、台湾 (zh_TW)</li> <li>クロアチア語、クロアチア (hr_HR)</li> <li>チェコ語、チェコ共和国 (cs_CZ)</li> </ul>

機能	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デンマーク語、デンマーク (da_DK)</li> <li>• オランダ語、オランダ (nl_NL)</li> <li>• 英語、イギリス (en_GB)</li> <li>• 英語、米国 (en_US)</li> <li>• フィンランド語、フィンランド (fi_FI)</li> <li>• フランス語、フランス (fr_FR)</li> <li>• ドイツ語、ドイツ (de_DE)</li> <li>• ギリシャ語、ギリシャ (el_GR)</li> <li>• ヘブライ語、イスラエル (he_IL)</li> <li>• ハンガリー語、ハンガリー (hu_HU)</li> <li>• イタリア語、イタリア (it_IT)</li> <li>• 日本語 (ja_JP)</li> <li>• 韓国語 (ko_KR)</li> <li>• ラトビア語、ラトビア (lv_LV)</li> <li>• リトアニア語、リトアニア (lt_LT)</li> <li>• ノルウェー語ブークモール、ノルウェー (nb_NO)</li> <li>• ポーランド語 (pl_PL)</li> <li>• ポルトガル語、ブラジル (pt_BR)</li> <li>• ポルトガル語、ポルトガル (pt_PT)</li> <li>• ルーマニア語、ルーマニア (ro_RO)</li> <li>• ロシア語 (ru_RU)</li> <li>• セルビア語、セルビア共和国 (sr_RS)</li> <li>• スロバキア語、スロバキア (sk_SK)</li> <li>• スロベニア語、スロベニア (sl_SI)</li> <li>• スペイン語、スペイン (es_ES)</li> <li>• スウェーデン語、スウェーデン (sv_SE)</li> <li>• タイ語、タイ (th_TH)</li> <li>• トルコ語、トルコ (tr_TR)</li> </ul>
通話機能のサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• + ダイヤリング (ITU E.164)</li> <li>• 短縮ダイヤル</li> <li>• 着信音と音声の音量調節</li> <li>• ディスプレイ輝度の調節</li> <li>• 自動応答</li> <li>• ヘッドセットの自動検出</li> <li>• 割り込み (cBarge)</li> <li>• コールバック</li> <li>• コール監察</li> <li>• コール転送</li> <li>• コール転送通知</li> <li>• 通話履歴一覧</li> <li>• コール パーク (ダイレクト コール パーク、アシステッド ダイレクト コール パークを含む)</li> <li>• コール ピックアップ</li> <li>• コール タイマー</li> <li>• コール ウェイティング</li> <li>• 発信者 ID</li> <li>• 社内ディレクトリ</li> <li>• 会議 (アドホック)</li> <li>• 直接転送</li> <li>• 転送 (iDivert)</li> <li>• サイレント (DND)</li> <li>• 拡張モビリティ サービス</li> <li>• 高速ダイヤル サービス</li> <li>• 強制アクセス コードとクライアント識別コード</li> <li>• グループ コール ピックアップ</li> <li>• 保留 (および再開)</li> <li>• インターコム</li> </ul>

機能	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際電話ロギング</li> <li>● 参加(アドホック)</li> <li>● 直前の番号のリダイヤル(LNR)</li> <li>● 悪意のある発信元の識別</li> <li>● メッセージ待機インジケータ(MWI)</li> <li>● Meet-Me 会議</li> <li>● モビリティ(Cisco Mobile Connect とモバイル音声アクセス)</li> <li>● 保留音(MOH)</li> <li>● ミュート(音声とビデオ)</li> <li>● ネットワーク プロファイル(自動)</li> <li>● オンネットワークとオフネットワークの固有呼び出し音</li> <li>● パーソナル ディレクトリ</li> <li>● ピックアップ</li> <li>● 送信前のプレダイヤル</li> <li>● プライバシー</li> <li>● Private Line Automated Ringdown(PLAR)</li> <li>● ライン アピアランスごとの呼び出し音</li> <li>● セルフビュー(ビデオ通話)</li> <li>● サービス URL</li> <li>● 共有回線(複数も可)</li> <li>● サイレント モニタリングと録音</li> <li>● 日時表示</li> <li>● 転送(アドホック)</li> <li>● 表示によるボイスメール</li> <li>● ボイスメール</li> </ul>
緊急サービス	緊急通報サービスへのダイヤル
アクセシビリティ機能	<p>視覚、聴覚、または運動に障がいがある方向けの追加のアクセシビリティ機能には、次のようなユーザ定義またはカスタマイズ可能な機能があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 表示フォント サイズと画面の輝度の設定</li> <li>● タッチスクリーンのタッチ アンド ホールドの遅延時間のカスタマイズ</li> <li>● Talkback 音声プロンプトとパスワードの読み上げ</li> <li>● Explore by Touch 機能のサポート</li> </ul>
<b>セキュリティ機能</b>	
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュアなブート</li> <li>● セキュアな認証情報保存</li> <li>● デバイス認証</li> <li>● ファイルの認証と暗号化</li> <li>● 画像の認証と暗号化</li> <li>● シグナリング認証</li> <li>● ランダム ビットの生成</li> <li>● ハードウェア暗号化アクセラレーション</li> <li>● 暗号化された設定ファイル</li> <li>● ファイル システムの暗号化</li> </ul>
証明書の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Certificate Authority Proxy Function (CAPF) のサポートによる追加のセキュリティ</li> <li>● メーカーでインストールされた証明書(MIC)</li> <li>● ローカルで有効な証明書(LSC)</li> <li>● X.509 デジタル証明書(DER で暗号化されたバイナリ データ)。DER と Base-64 の両方の形式をクライアントとサーバの認証に使用可能。1,024、2,048、4,096 のキー サイズの証明書がサポートされる。</li> </ul>



機能	仕様
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>有線: ネットワーク認証用の 802.1x サプリカント オプションは次のプロトコルを使用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>拡張認証プロトコル: Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secure Tunneling (EAP-FAST)</li> <li>拡張認証プロトコル: EAP Transport Layer Security (EAP-TLS)</li> </ul> </li> <li>ワイヤレス (表 5 を参照)</li> <li>ワイヤレス: Wi-Fi Protected Access 2 (WPA2) (EAP-FAST)</li> <li>Wired Equivalent Privacy (WEP)</li> <li>ワイヤレス EAP-TLS</li> <li>Protected Extensible Authentication Protocol - Generic Token Card (PEAP-GTC)</li> </ul>
メディアおよびデータシグナリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>TLS</li> <li>SRTP</li> <li>HTTPS (クライアント)</li> </ul>
社内ネットワークへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>Cisco AnyConnect セキュア モビリティ クライアント</li> <li>Web プロキシ (Protected Access Credential (PAC) ファイルの手動または自動設定)</li> <li>NLTM および Kerberos 認証</li> </ul>
デバイス管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート ワイプ</li> <li>ActiveSync リモート ワイプ (E メール、連絡先、カレンダーなど)</li> <li>セルフサービス ワイプ</li> <li>ログイン試行失敗後のワイプ</li> <li>出荷時の状態へのリセット</li> </ul>
ポリシー管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑なパスワード</li> <li>USB の無効化機能</li> <li>スピーカーフォンの無効化機能</li> <li>ヘッドセットの無効化機能</li> <li>Secure Digital I/O (SDIO) の有効化/無効化</li> <li>Bluetooth</li> <li>Wi-Fi</li> <li>Android マーケットへのアクセス</li> <li>画面のロックとデバイスの自動ロック (暗証番号 (PIN) またはパスワード)</li> <li>Android Debug Bridge (ADB)</li> </ul>
診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合されたシスコ コラボレーション問題レポート ツールでは、電話やアプリケーションに問題が発生したときにシステム管理者に直接情報を送信できます (E メール アカウントの設定が必要)。</li> <li>ログ サーバ</li> </ul>

表 5. Wi-Fi 機能および仕様

機能	仕様
プロトコル	IEEE 802.11a, 802.11b, 802.11g, 802.11n
周波数帯域および動作チャンネル	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.472 GHz (チャンネル 1 ~ 13)</li> <li>5.180 ~ 5.240 GHz (チャンネル 36 ~ 48)</li> <li>5.260 ~ 5.320 GHz (チャンネル 52 ~ 64)</li> <li>5.500 ~ 5.700 GHz (チャンネル 100 ~ 140)</li> <li>5.745 ~ 5.825 GHz (チャンネル 149 ~ 165)</li> </ul> <p>注: IEEE 802.11d を使用して利用可能なチャンネルを識別します。</p>
非オーバーラップチャンネル	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.4 GHz (20-MHz チャンネル): 最大 3 チャンネル</li> <li>5 GHz (20-MHz チャンネル): 最大 24 チャンネル</li> <li>5 GHz (40-MHz チャンネル): 最大 9 チャンネル</li> </ul>
動作モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動 (デフォルト)、2.4 または 5 GHz に対して最も強力な受信信号強度表示 (RSSI) を優先</li> <li>2.4 GHz のみ</li> <li>5 GHz のみ</li> </ul>
データレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>802.11a: 6, 9, 12, 18, 24, 36, 48, 54 Mbps</li> <li>802.11b: 1, 2, 5.5, および 11 Mbps</li> <li>802.11g: 6, 9, 12, 18, 24, 36, 48, 54 Mbps</li> <li>802.11n: HT MCS 0, MCS 1, MCS 2, MCS 3, MCS 4, MCS 5, MCS 6, および MCS 7</li> </ul>

機能	仕様		
2.4-GHz レシーバ 感度	IEEE 802.11b: <ul style="list-style-type: none"> <li>1 Mbps:-95 dBm</li> <li>2 Mbps:-93 dBm</li> <li>5.5 Mbps:-90 dBm</li> <li>11 Mbps:-86 dBm</li> </ul>	IEEE 802.11g: <ul style="list-style-type: none"> <li>6 Mbps:-89 dBm</li> <li>9 Mbps:-89 dBm</li> <li>12 Mbps:-87 dBm</li> <li>18 Mbps:-85 dBm</li> <li>24 Mbps:-81 dBm</li> <li>36 Mbps:-78 dBm</li> <li>48 Mbps:-74 dBm</li> <li>54 Mbps:-72 dBm</li> </ul>	IEEE 802.11n HT20: <ul style="list-style-type: none"> <li>MCS 0:-88 dBm</li> <li>MCS 1:-86 dBm</li> <li>MCS 2:-84 dBm</li> <li>MCS 3:-81 dBm</li> <li>MCS 4:-78 dBm</li> <li>MCS 5:-73 dBm</li> <li>MCS 6:-71 dBm</li> <li>MCS 7:-69 dBm</li> </ul>
5-GHz レシーバ 感度	IEEE 802.11a: <ul style="list-style-type: none"> <li>6 Mbps:-91 dBm</li> <li>9 Mbps:-91 dBm</li> <li>12 Mbps:-90 dBm</li> <li>18 Mbps:-88 dBm</li> <li>24 Mbps:-85 dBm</li> <li>36 Mbps:-81 dBm</li> <li>48 Mbps:-77 dBm</li> <li>54 Mbps:-76 dBm</li> </ul>	IEEE 802.11n HT20: <ul style="list-style-type: none"> <li>MCS 0:-91 dBm</li> <li>MCS 1:-89 dBm</li> <li>MCS 2:-86 dBm</li> <li>MCS 3:-84 dBm</li> <li>MCS 4:-81 dBm</li> <li>MCS 5:-76 dBm</li> <li>MCS 6:-74 dBm</li> <li>MCS 7:-72 dBm</li> </ul>	IEEE 802.11n HT40: <ul style="list-style-type: none"> <li>MCS 0:-90 dBm</li> <li>MCS 1:-87 dBm</li> <li>MCS 2:-85 dBm</li> <li>MCS 3:-81 dBm</li> <li>MCS 4:-78 dBm</li> <li>MCS 5:-74 dBm</li> <li>MCS 6:-72 dBm</li> <li>MCS 7:-70 dBm</li> </ul>
トランスミッタの出力電力	2.4 GHz: <ul style="list-style-type: none"> <li>802.11b:最大 16 dBm</li> <li>802.11g:最大 16 dBm</li> <li>802.11n HT20:最大 16 dBm</li> </ul>		5 GHz: <ul style="list-style-type: none"> <li>802.11a:最大 16 dBm</li> <li>802.11n HT20:最大 15 dBm</li> <li>802.11n HT40:最大 15 dBm</li> </ul>
アンテナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.4 GHz:2.6-dBi ピーク ゲイン</li> <li>5 GHz:4.0-dBi ピーク ゲイン</li> </ul>		
アクセスポイントのサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>シスコ ユニファイド アクセス ポイント: <ul style="list-style-type: none"> <li>最小:7.0.240.0</li> <li>推奨:7.4.121.0、7.6.110.0 以降</li> </ul> </li> <li>Cisco Autonomous(自律)アクセス ポイント: <ul style="list-style-type: none"> <li>最小:12.4(21a)JY</li> <li>推奨:12.4(25d)JA2 以降</li> </ul> </li> </ul>		
ワイヤレス セキュリティ	認証: <ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fi Protected Access(WPA)バージョン 1 および 2 個人および企業</li> <li>EAP-FAST</li> <li>Protected Extensible Authentication Protocol - Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol バージョン 2 (PEAP-MSCHAPv2)</li> <li>Protected Extensible Authentication Protocol - Generic Token Card(PEAP-GTC)</li> <li>EAP-TLS</li> </ul>	暗号化: <ul style="list-style-type: none"> <li>40 ビットおよび 128 ビットのスタティック WEP</li> <li>Temporal Key Integrity Protocol(TKIP)および Message Integrity Check(MIC)</li> <li>Advanced Encryption Standard(AES)</li> </ul>	
高速セキュア ローミング	Cisco Centralized Key Management(Cisco CKM)		
QoS	<ul style="list-style-type: none"> <li>IEEE 802.11e および Wi-Fi Multimedia(WMM)</li> <li>Enhanced Distributed Channel Access(EDCA)</li> <li>QoS Basic Service Set(QBSS)</li> </ul>		
レーダー検出	IEEE 802.11h に従った Dynamic Frequency Selection(DFS; 動的周波数選択)および Transmit Power Control(TPC; 伝送パワー制御)		

## ライセンス

電話機ライセンスは、コール制御プラットフォームおよびそのポリシーに依存します。Cisco Unified Communications Manager を使用するには、Cisco DX70 に最小レベルの Enhanced IP User Connect License(UCL)が必要です。Tier -2 ディストリビュータには、特別なライセンス付き電話機のバンドルはありません。DX70 は、サードパーティコール制御システムではサポートされません。

## 保証に関する情報

DX シリーズのエンドポイントは、シスコの 1 年間限定のハードウェア保証が付いてきます。保証については、Cisco.com の『[製品保証](#)』[英語] のページを参照してください。

## 発注情報

表 6 から表 8 は発注情報を示しています。製品の導入およびご利用の際にご購入が必要となる全種類のコンポーネントまたは部品をご案内しています。

シスコ製品の購入方法については、[購入案内のページ](#)を参照してください。ソフトウェアをダウンロードするには、[Cisco Software Center](#) にアクセスしてください。

表 6. Cisco DX70 の発注情報

製品名	製品番号
Cisco DX70	CP-DX70-W-K9=
Cisco DX70、TAA バージョン	CP-DX70-W-K9++=

表 7. 交換部品の発注

製品名	製品番号
イーサネット ケーブル、グレー、2.9 m	CAB-GREY-2.9M=
Cisco DX70 用フット スタンド	CP-DX70-FS=
DX70 および DX80 シリーズ用の電源変圧器	CP-PWR-CUBE-5=

表 8. オプション アクセサリの発注

製品名	製品番号
Cisco DX70 VESA 取り付けキット	CP-DX70-VESA=
HDMI-to-HDMI ケーブル(3 m)	CAB-DX-2HDMI-3M
シスコ用 Jabra ハンドセット 450、米国、ホワイト	SPVAC-H450-W-US=
シスコ用 Jabra ハンドセット 450、台湾、ホワイト	SPVAC-H450-W-TW=
シスコ用 Jabra ハンドセット 450、日本、ホワイト	SPVAC-H450-W-JP=
シスコ用 Jabra ハンドセット 450、ヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランド、ホワイト	SPVAC-H450-W-EU=

## シスコのサービス

シスコのサービスは、ネットワーク、アプリケーション、およびそれらの利用者の連携を強化します。

ネットワークは今、人、情報、アイデアのより高度な統合を必要とする世界において、戦略的プラットフォームとなっています。製品とサービスを組み合わせて、ビジネスのニーズと機会に即したソリューションを形成すれば、ネットワークはより効果的に機能するようになります。

ネットワーク ライフサイクルの各段階に必要なアクティビティが定義されたシスコ独自のライフサイクル アプローチにより、優れたサービスが確実に提供されます。シスコと優れたパートナーのネットワーク、そしてお客様の力を結合するコラボレーティブなサービス提供により、シスコは最大限の成果を達成します。

## Cisco Capital

### 目標達成を支援する融資

Cisco Capital は、お客様が目標の達成と競争力の維持に必要なテクノロジーを導入できるよう支援します。お客様の CapEx を削減し、成長を加速させ、投資金額と ROI を最適化します。Cisco Capital ファイナンス プログラムにより、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および補完的なサードパーティ製機器を柔軟に購入することができます。支払いが統一されるため、予想外の支払いが発生することはありません。Cisco Capital は 100 カ国以上でサービスを利用できます。[詳細はこちらをご覧ください。](#)

### 関連情報

Cisco DX70 の詳細については、<http://www.cisco.com/web/JP/product/hs/iptel/dce/dx70/index.html> をご覧いただくか、最寄りのシスコ代理店にお問い合わせください。

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2016年4月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先